

# ルート証明書インストール手順書

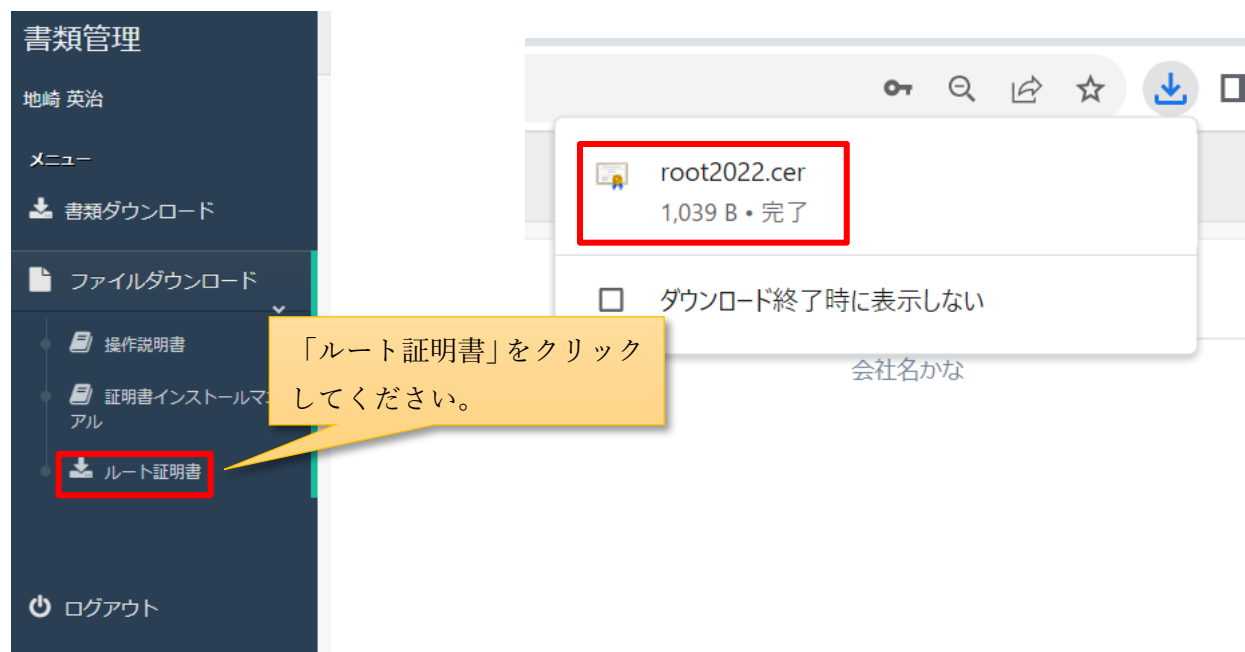
## 目次

1. 初回利用時の設定.....	3
2. 証明書のインストール .....	4
3. Adobe Reader のセキュリティ設定 .....	10
Adobe Acrobat Reader DC のバージョンの場合 .....	10
Adobe Reader XI ・ Acrobat XI のバージョンの場合.....	12
Adobe Reader X ・ Acrobat X 以前のバージョン（Adobe Reader 7 ・ Acrobat 7 以降）の場合 .....	14
4. 電子署名の確認.....	16

# 1. 初回利用時の設定

初回利用時には1つの証明書をインストールする必要があります。

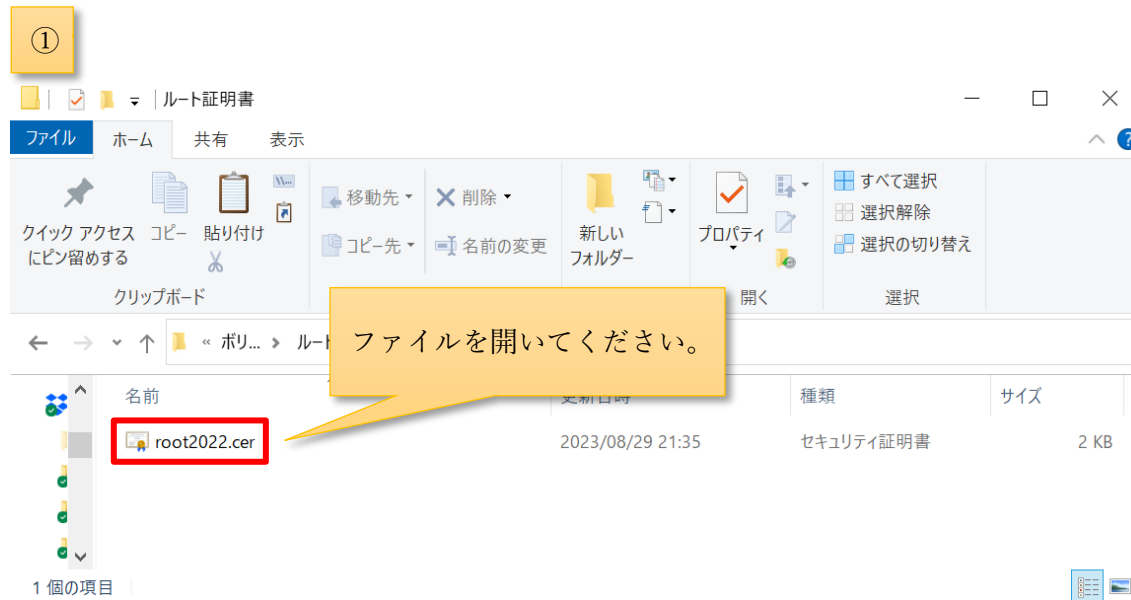
ログイン後のサイドメニューにルート証明書をダウンロードできる機能を用意しております。



## 2. 証明書のインストール

ルート証明書は、証明書の発行元（認証局）の正当性を証明する証明書のことです。  
本システムでは、法務局のルート証明書をインストールします。

ルート証明書のインストール手順  
下図①～⑩の手順で設定します。



②

### 開いているファイル - セキュリティの警告

このファイルを開きますか?



名前: D:\ルート証明書¥root2022.cer  
発行元: **不明な発行元**  
種類: セキュリティ証明書  
発信元: D:\ルート証明書¥root2022.cer

「開く」ボタンをクリックしてください。

開く(O)

キャンセル

このファイルを開く前に常に確認する(W)



インターネットのファイルは役に立ちますが、このファイルの種類はコンピューターに問題を起こす可能性があります。発信元が信頼できない場合は、このソフトウェアを開かないでください。[危険性の説明](#)

③

### 証明書

全般 詳細 証明のパス



#### 証明書の情報

この CA ルート証明書は信頼されていません。信頼を有効にするにはこの証明書を信頼されたルート証明機関のストアにインストールしてください。

発行先: Registrar of Tokyo Legal Affairs Bureau

発行者: Registrar of Tokyo Legal Affairs Bureau

有効期間 2022/11/29 から

「証明書のインストール」ボタンをクリックしてください。

証明書のインストール(I)...

発行者のステートメント(S)

OK

④

×

← 証明書のインポートウィザード

## 証明書のインポートウィザードの開始

このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リストをディスクから証明書ストアにコピーします。

証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データを保護したり、またはセキュリティで保護されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

「現在のユーザ」を選択してください。

保存場所

現在のユーザ (C)

ローカル コンピューター (L)

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

「次へ」 ボタンをクリックしてください。

次へ(N)

キャンセル

⑤

← 証明書のインポートウィザード

### 証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の場所です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書をすべて次のストアに配置するかを選択してください。

証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)

証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:

参照(R)...

「証明書をすべて次のストアに配置する」を選択してください。

「参照」ボタンをクリックしてください。

次へ(N)

キャンセル

⑥

### 証明書ストアの選択

使用する証明書ストアを選択してください。

「信頼されたルート証明機関」を選択してください。

個人

信頼されたルート証明機関

エンタープライズの信頼

中間証明機関

信頼された発行元

信頼されていない証明書

サードパーティルート証明機関

物理ストアを表示する(S)

OK

キャンセル

「OK」ボタンをクリックしてください。

⑦



← 証明書のインポート ウィザード

### 証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。

- 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(L)
- 証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:

信頼されたルート証明機関

参照(R)...

「次へ」ボタンを  
クリックしてください。

次へ(N)

キャンセル



⑧

← 証明書のインポートウィザード

## 証明書のインポートウィザードの完了

[完了] をクリックすると、証明書がインポートされます。

次の設定が指定されました

ユーザーが選択した証明書ストア	信頼されたルート証明機関
内容	証明書

「完了」ボタンをクリックしてください。

完了(F) キャンセル

⑨

×

セキュリティ警告

発行者が次であると主張する証明機関 (CA) から証明書をインストールしようとしています:

Registrar of Tokyo Legal Affairs Bureau

証明書が実際に "Registrar of Tokyo Legal Affairs Bureau" からのものであるかどうかを検証できません。"Registrar of Tokyo Legal Affairs Bureau" に連絡して発行者を確認する必要があります。次の番号はこの過程で役立ちます:

拇印 (sha1): 7849F6DE D1EB9B6A 51650E30 C863968F BB8E379F

警告:  
このルート証明書をインストールすると、この CA によって発行された証明書は自動的に信頼されます。確認されていない拇印付きのすることは、セキュリティ上、危険です。[はい] をクリックしたことになります。

この証明書をインストールしますか?

はい(Y) いいえ(N)

「はい」ボタンをクリックしてください。

⑩

証明書のインポートウィザード

正しくインポートされました。

OK

「OK」ボタンをクリックしてください。

### 3. Adobe Acrobat Reader のセキュリティ設定

請求書・納品書ファイル（PDF ファイル）の署名検証を行うためのセキュリティ設定を行います。

Adobe Reader のバージョンによって設定手順が違います。

ご利用されている Adobe Reader・Acrobat のバージョンをご確認の上、以下の設定を実施してください。

Adobe Acrobat Reader DC の場合

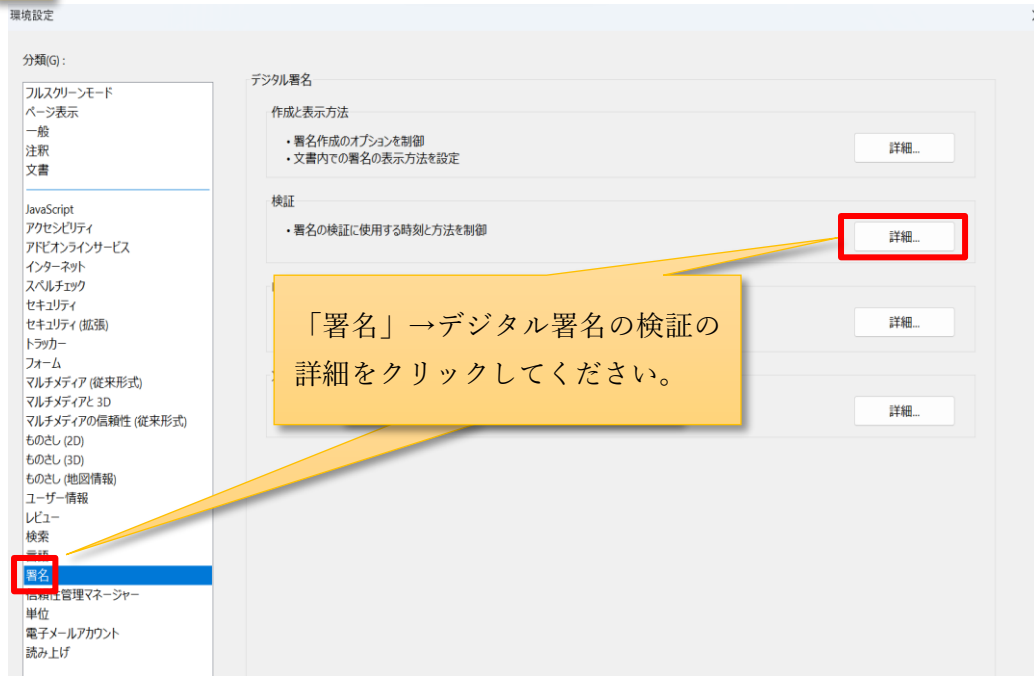


「署名検証の環境設定」画面が表示されますので、

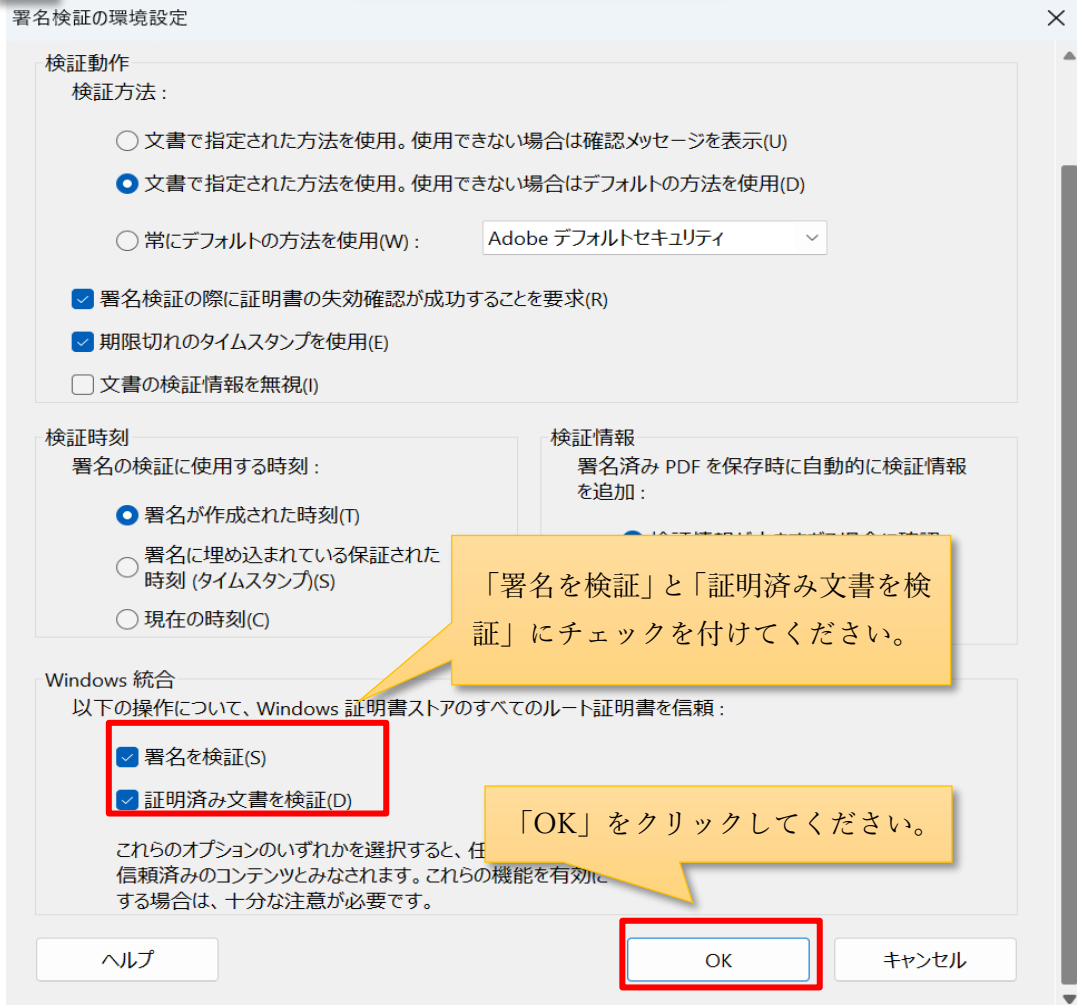
Windows 統合グループの「署名を検証」、「証明済み文書を検証」の二つをチェックして、「OK」ボタンをクリックしてください。

その後、環境設定画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックし、ご利用の環境の **Adobe Acrobat Reader アプリ** を「終了」してください。

②

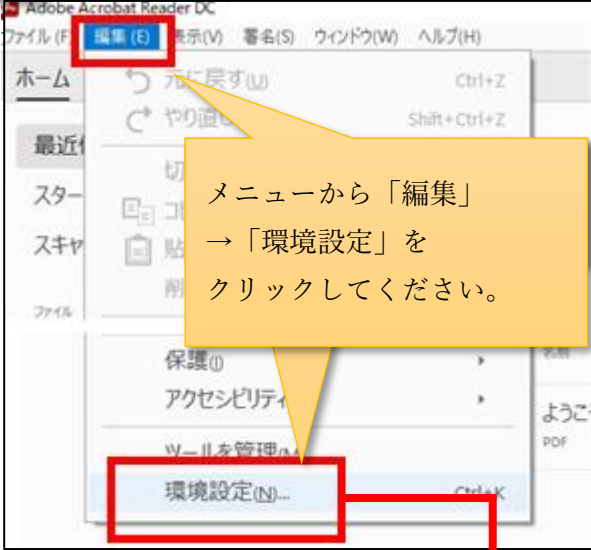


③



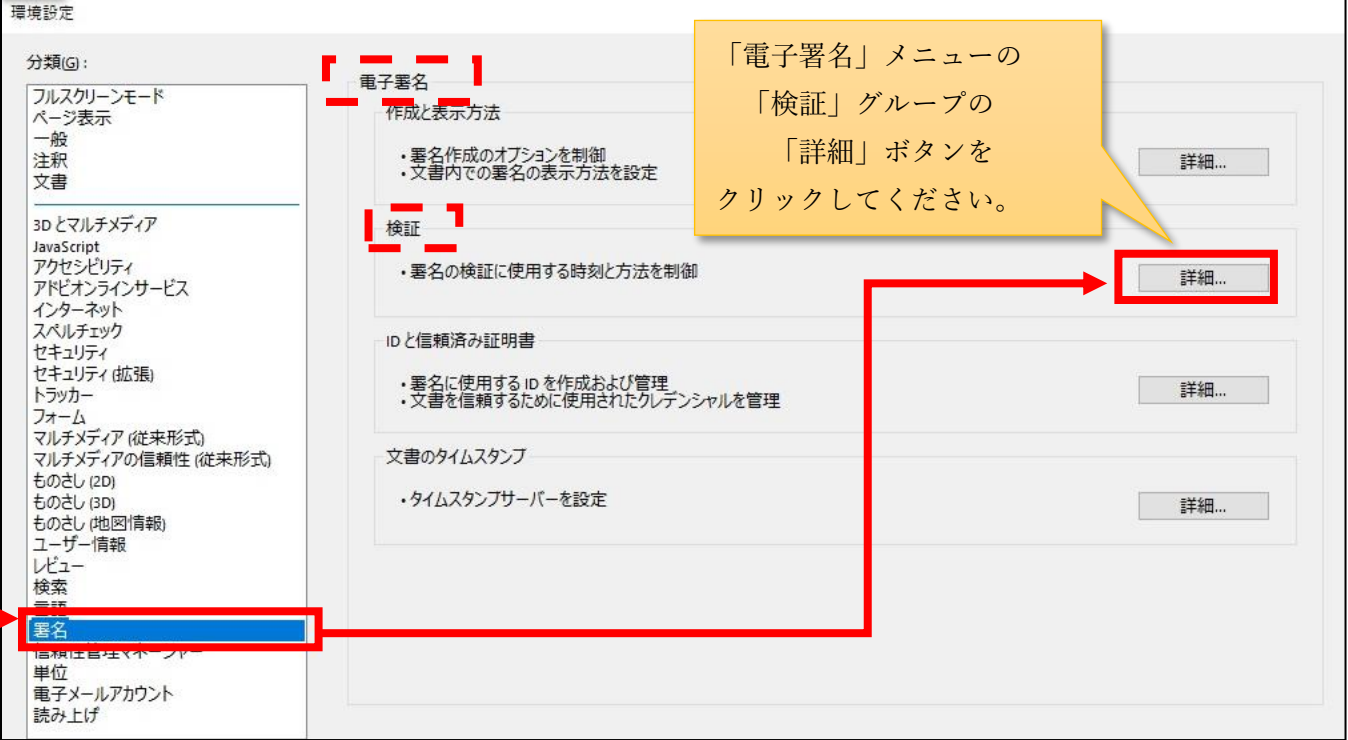
Adobe Reader XI・Acrobat XI のバージョンの場合

①



メニューから「編集」→「環境設定」をクリックしてください。

②



環境設定

分類 (C):

- フルスクリーンモード
- ページ表示
- 一般
- 注釈
- 文書
- 3Dとマルチメディア
- JavaScript
- アクセシビリティ
- アドビオンラインサービス
- インターネット
- スペルチェック
- セキュリティ
- セキュリティ (拡張)
- トラッカー
- フォーム
- マルチメディア (従来形式)
- マルチメディアの信頼性 (従来形式)
- ものさし (2D)
- ものさし (3D)
- ものさし (地図情報)
- ユーザー情報
- レビュー
- 検索
- 言語
- 信頼性管理 (アドビ)
- 単位
- 電子メールアカウント
- 読み上げ

電子署名

作成と表示方法

- 署名作成のオプションを制御
- 文書内での署名の表示方法を設定

検証

- 署名の検証に使用する時刻と方法を制御

IDと信頼済み証明書

- 署名に使用するIDを作成および管理
- 文書を信頼するために使用されたクレデンシャルを管理

文書のタイムスタンプ

- タイムスタンプサーバーを設定

「電子署名」メニューの「検証」グループの「詳細」ボタンをクリックしてください。

分類は「署名」をクリックしてください。

「署名検証の環境設定」画面が表示されますので、

Windows 統合グループの「署名を検証」、「証明済み文書を検証」の二つをチェックして、「OK」ボタンをクリックしてください。

その後、環境設定画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックし、ご利用の環境の **Adobe Reader アプリを「終了」** してください。  
セキュリティ設定手順は以上です。

③

署名検証の環境設定

文書を開くときに署名を検証

有効であるが信頼していない署名が文書にある場合、署名者を確認して信頼性を設定

検証動作

検証方法:

文書で指定された方法を使用。使用できない場合は確認メッセージを表示

文書で指定された方法を使用。使用できない場合はデフォルトの方法を使用

常にデフォルトの方法を使用: Adobe デフォルトセキュリティ

署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求

期限切れのタイムスタンプを使用

文書の検証情報を無視

検証時刻

署名の検証に使用する時刻:

署名が作成された時刻

署名に埋め込まれている保証された時刻 (タイムスタンプ)

現在の時刻

検証情報

署名済み PDF を保存時に自動的に検証情報を追加:

検証情報が大きすぎる場合に確認

常に

行わない

Windows 統合

以下の操作について、Windows 証明書ストアのすべてのルート証明書を信頼:

署名を検証

証明済み文書を検証

これらのオプションのいずれかを選択すると、任意のマテリアルが信頼済みのコンテンツとみなされます。これらの機能を有効にする場合は、十分な注意が必要です。

ヘルプ OK キャンセル

④

電子署名

作成と表示方法

- 署名作成のオプションを制御
- 文書内での署名の表示方法を設定

詳細...

検証

- 署名の検証に使用する時刻と方法を制御

詳細...

IDと信頼済み証明書

- 署名に使用するIDを作成および管理
- 文書を信頼するために使用されたクレデンシャルを管理

詳細...

文書のタイムスタンプ

- タイムスタンプサーバーを設定

詳細...

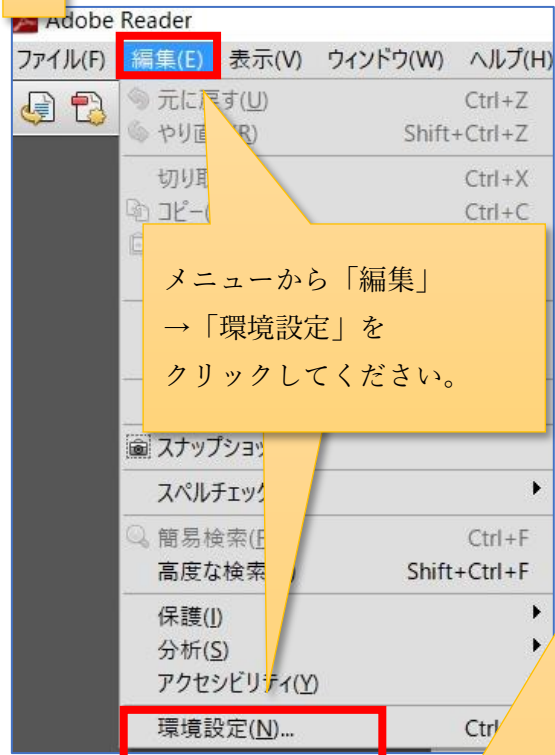
OK キャンセル

「署名を検証」は切替できない場合がありますが、「証明済み文書を検証」をチェックすると連動チェックされます。

Adobe Reader X・Acrobat X以前のバージョン（Adobe Reader 7・Acrobat 7以降）の場合

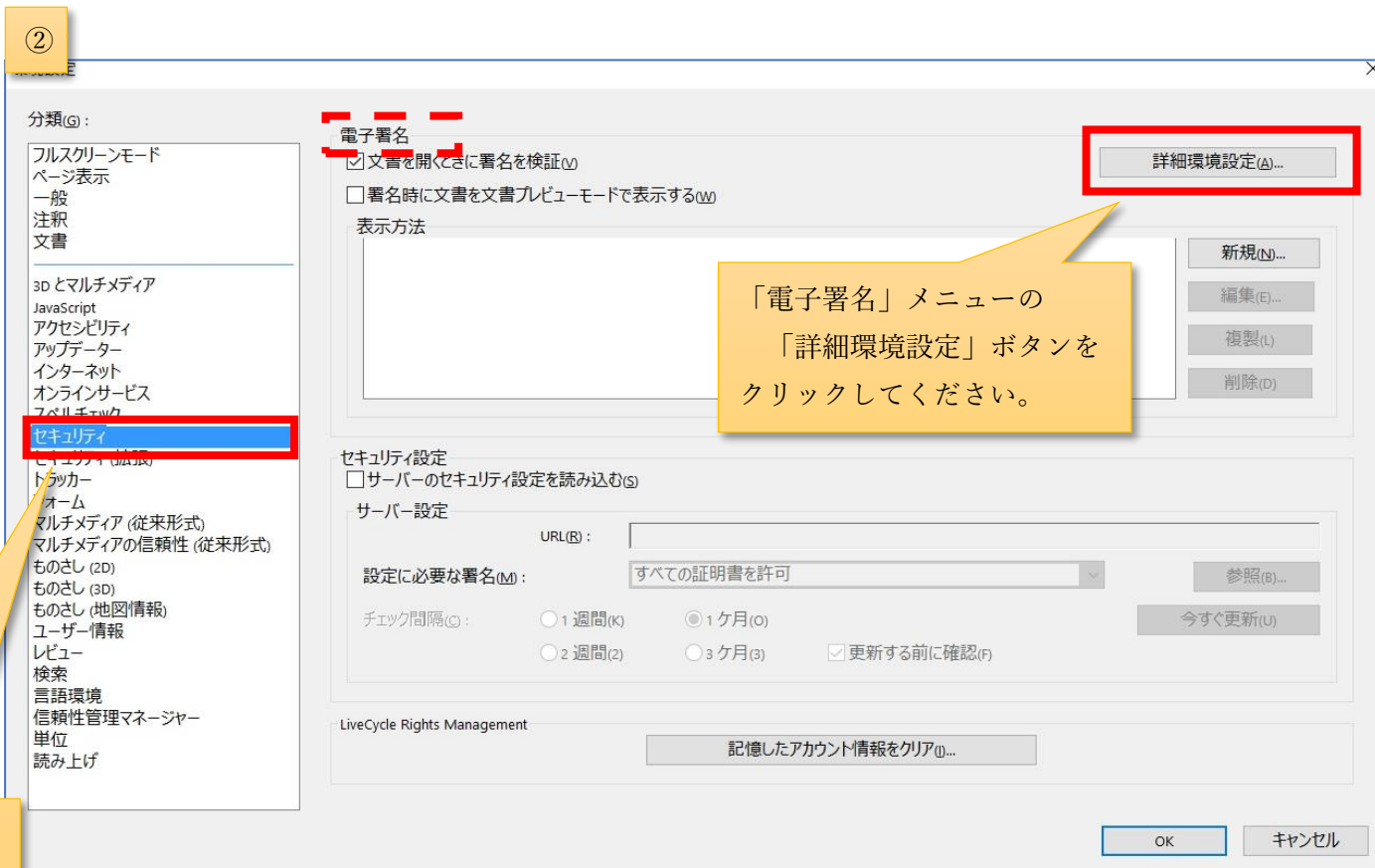
※以下の画面は Adobe Reader X の場合の例です。

①



メニューから「編集」  
→「環境設定」を  
クリックしてください。

②



分類は「セキュリティ」を  
クリックしてください。

「電子署名」メニューの  
「詳細環境設定」ボタンを  
クリックしてください。

Adobe Reader X のメニューと「電子署名」ダイアログボックスのスクリーンショット。①はメニューバーの「編集(E)」と「環境設定(N)...」が赤枠で囲われ、黄色い吹き出しで「メニューから「編集」→「環境設定」をクリックしてください」と説明されている。②は「電子署名」ダイアログボックスの「セキュリティ」カテゴリが赤枠で囲われ、黄色い吹き出しで「分類は「セキュリティ」をクリックしてください」と説明されている。また、「電子署名」メニュー内の「詳細環境設定(A)...」ボタンも赤枠で囲われ、黄色い吹き出しで「「電子署名」メニューの「詳細環境設定」ボタンをクリックしてください」と説明されている。

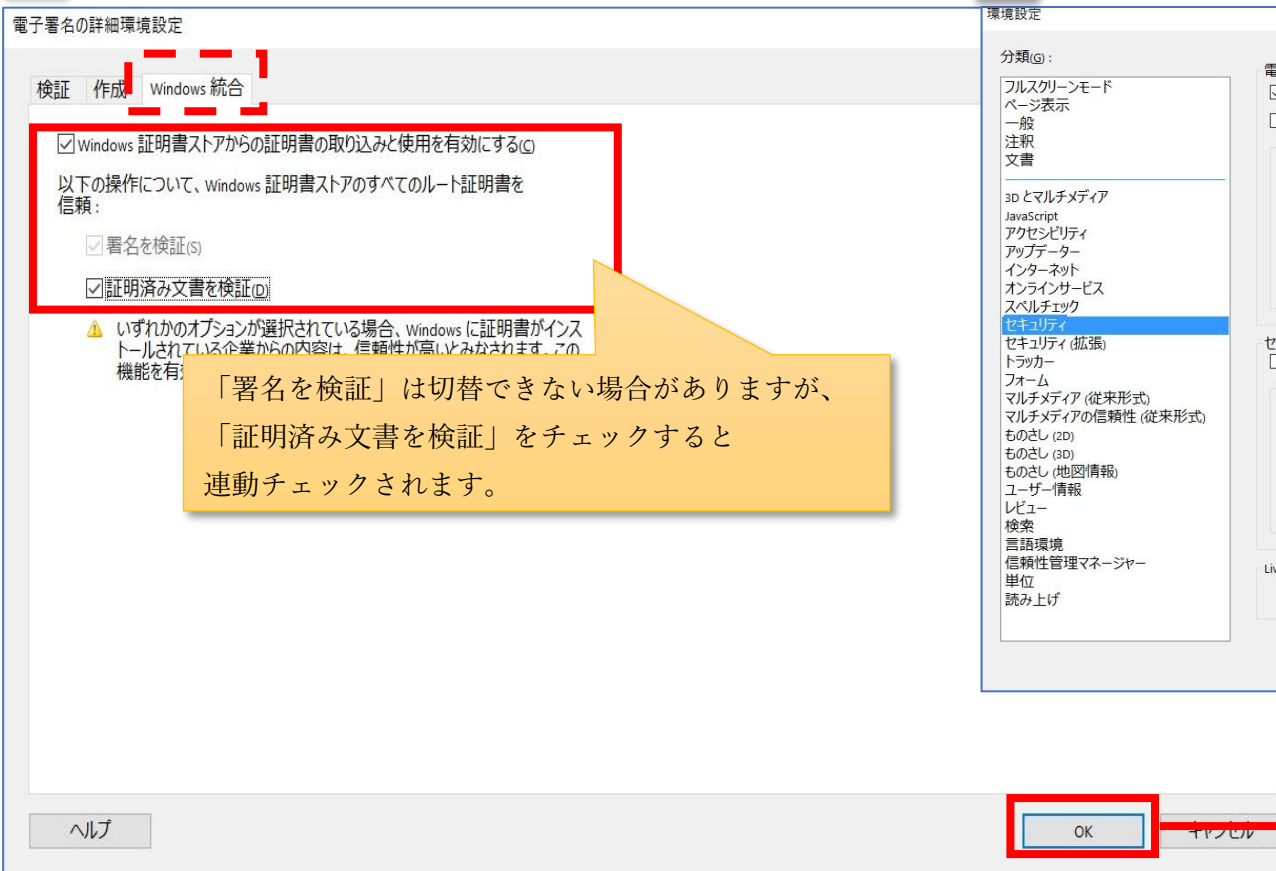
「電子署名の詳細環境設定」画面が表示されます。

Windows 統合タブをクリックしてください。

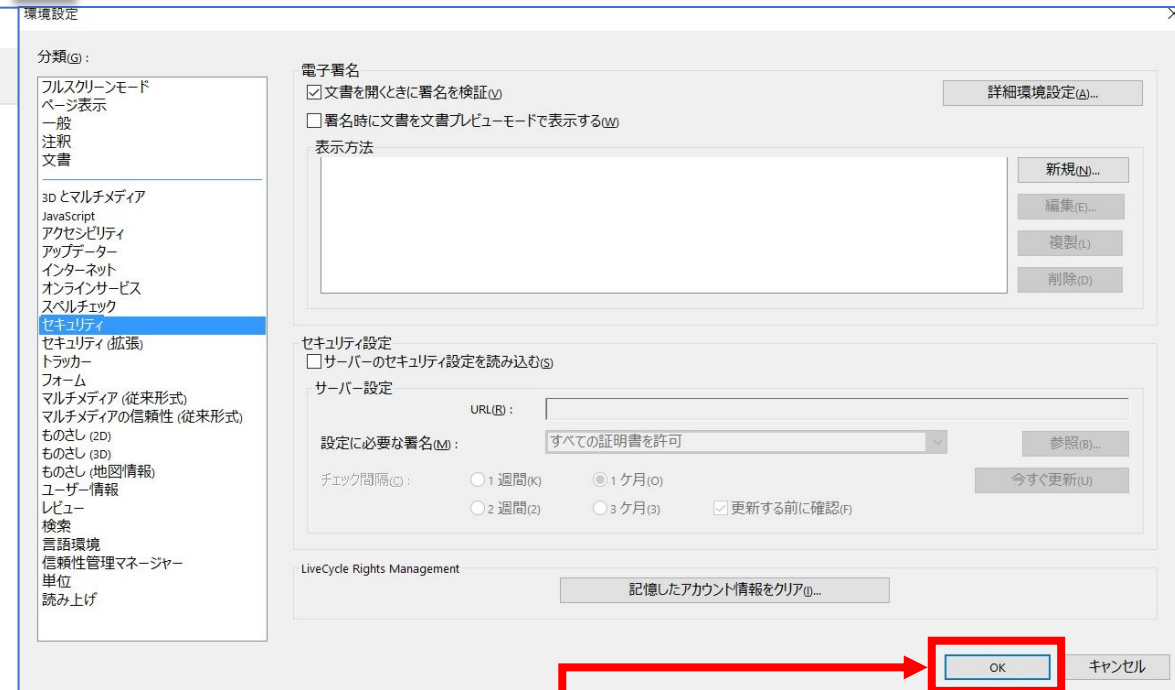
「windows 証明書ストアからの証明書の取り込みと使用を有効にする」、「署名を検証」、「証明済み文書を検証」の三つをチェックして「OK」ボタンをクリックしてください。

その後、環境設定画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックし、Adobe Reader Xを「終了」してください。  
セキュリティ設定手順は以上です。

③



④





## 4. 電子署名の確認

Adobe Acrobat Reader の設定完了後、Adobe Acrobat Reader を一度閉じてください。  
その後、請求書を Adobe Acrobat Reader で表示してください。

「署名済みであり、すべての署名が有効です。」と表示されます。

署名済みであり、すべての署名が有効です。

署名パネル

× 署名

> バージョン 1 : 0402320000003 により署名済み

> バージョン 2 : Seiko Timestamp Service. Accredi

### 請求書

株式会社〇〇〇〇〇 〇〇 〇〇御中

件名：  
xxxxxに関連するxxxx業務 20xx年 xx月分

下記の通り、ご請求申し上げます。

ご請求金額(税込) :                    **¥ 597,400 -**

株式会社〇〇〇〇〇〇〇  
〒000-0000  
XXX県XXX市XXX区XXX1丁目XX>  
印保伊ビル5階  
担当：印保伊 太郎  
TEL：000-000-0000  
FAX：000-000-0000  
mail：XXXXXXXXXX@XX.jp